

7858

6866
23年 6月21日 発表

佐賀県

港務部付加世丸来員機銃隊

機銃員

水兵

一水

五月八日

佐世保港

五月十五日

上海港務部

機雷布設艦加世丸来員で後部の機銃員(舟山島上海方面)を行返る
死 七月十八日午前十時頃

他人同乗員(同)
呉松沖三機雷布設艦状況中食三終了
うな後部昇降機前が止まり了るなり

吳松仲聖丸後部昇降止前

七月十八日
一時頃

機銃ヲ持テ對敵及ナ非之中

卷六

上水

水

詩經

方

同

上海港務局吳松栢海隊

備忘

二 不詳等は死没者の身上関係一切を処理すべし又其子と云ふは

27-10

50

死後香調善

紫苑

4735

死亡年月日

死亡時の状況

板の通り承知し、このうちから申告致しします

昭和二十二年 五月 二 日

入籍番号

本籍地

現住所

付属部 青森県弘前市南津久保町

備考

一 本調査は死没者の真正関係一知を處理するものであるから、
に且つ詳細に記入しなす

二 他人との関係も記載し、その地、年齢と今へ多資金等は
其の旨を記入しなす

三 本調査は、大體に、
カ、度、格、係、同、事、番、入、電、シ、テ、記、載、し、な、す、
同、事、番、人、の、名、を、記、載、し、な、す、
第、一、番、人、の、名、を、記、載、し、な、す、

7/

未處理者消息究明報告

吳地方復員業務處理部

正調分重	全國名	吳地方
55	204	殘
大村	空元山	部依
十二	二	手組
至氏	年月日	入籍
本籍	留年	現住所

貼字
付真

履歷	學歷	特授	學歷
家族	父母兄弟	電氣熔接工	高小卒
妹弟	妹弟	18/12/1	吳國入國
妹弟	妹弟	19/4/15	大前山元山分連隊
妹弟	妹弟	20/5/1	整長
妹弟	妹弟	20/9/1	二重

[Redacted]

本人が不十ヶ年といふをみう情報に誤りである。本人は
以前から良しきおくり島美の類に前達した。本人
は私と一緒に延吉市に入収収容所、陳成龍作
真しき勤勞といふが腹痛の爲に平ノ月（白鳥祥
子）が正當とあり延吉市に収容され、陳成龍（在華一
年兵）[Redacted]氏（復員者）清吉及び佐所不詳）
が本知り等である。

(別府)

双六月頃不十ヶ年、地ニカデシカニ分所において
使役であった。

(福岡)

[Redacted]

[Redacted]

卷之六

10

七

羅時根

兵種

不韜審議

解教す由を極度。榮卷失調と過勞の爲三升八月也

琴瑟失調

宣統元年八月十四日

右 申 部 長

昭和二十二年十二月十九日

本籍地	現住所	所属部隊	氏名	官等級	入籍番號

備考

(一) 本調書は部隊長又は職務取扱者等異地方役員局人事部長宛通報すや、
貴局者に於て知得しある事と認むるもののみを付記載す
(二) 吳鎮在籍の特務士官、准士官、下士官、兵に付記載す
(三) 同府縣人は勿論他府縣出身者に就いては記載す
(四) 知得しある範圍に於て出来得る限り詳細に記載す
(五) 他人より聞きて承知したる事項は本當該欄に相手方と記載す

註

本申書は
(此項者の姓名)より遠方に通知
する瑞書に依り作製せざるものがある

21-10

(附註)

(附註)

死没者證書

本籍地

遺族住所及病

所屬部隊

役種

官等級

戰死年月日

勤務概要

受傷經過年月日

受傷部(所)

受傷原因及戰

隊員方面特別根據隊

國民兵役

一軍水兵

不詳

兵種

兵科

入籍番号 不詳

昭和二十年八月七日

紐南院赤痢

不詳

死時、状況

聖蹟月日附註

託事

昭和二十一年八月五日 日中前九時十分
東京市豊島区大塚三丁目一丁目
東京市豊島区大塚三丁目一丁目
東京市豊島区大塚三丁目一丁目

右中書文

昭和二十一年四月二日

由本籍地

告販郷先

者所屬部隊

人氏名

大連港海軍工廠隊

官第 級

上等兵曹

入籍番号

終

死沒者新書

200

35

本籍地

遺疾任所為醫

所屬鄭隊

殺種

官等級

二二二

勤耕概

後漢書

受傷部之病也

憂傷發病又公戰

一
學
水
年

國氏新說

吳權

人語

昭和二十年七月五日 大連瀋陽警備隊一隊

晚紀三年 三月五日 燕順特剏根據世族附以命七元

[illegible]

昭和二十一年七月十七日

經商者

死亡番号 五九三

元正月四日

新

[illegible]

右中書

卷之四

日
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

由本籍記

告
頤
頤
頤
頤

若所屬郵部

氏

大東漢漢書編

宿等韻

江蘇省立第一中學

入籍番

卷

死時、狀況 不詳

昭和八年三月三日 金州病院

記

左中 告入

昭和八年三月三日

中 告入 同 左

告入

大連 告入

告入

宮城 告入
入籍番号

CE 1000

遺教住持之說

所屬部隊

大連港 漂着 備録

殺種

國民無敵

五八

外科

官等級

筆水

姓名



卷之四

錢坫刻

昭和二十一年八月十三日

蠶絲、概要

紀元辛辛二月一日
 應召佐世傳家之海島國入國
 紀元辛辛二月八日
 所和暫成兵下
 武山海正國入國
 紀元辛辛四月八日
 指彈實砲箭之疾入換
 敵首無一復照和辛辛
 五月八日
 指水砲頭擊本部
 入敵和辛辛七月四日
 大應
 紀元辛辛八月
 命七之し同
 紀元辛辛八月
 命七之し同
 紀元辛辛八月
 命七之し同

便湯發過

經紀二十二年八月十四日

愛陽部病色

細蘭乾赤廟

愛陽養病又戲

奈度

死之發乎

六五九五

56

死時、狀況

三月廿四日所到

九時三十分

既經三十分、日午前、三時三十分、
南東町、金井、廣田、日中、一、
道長、上、後、退、是、事、

託事

右中告入

昭和三十三年四月八日

由本籍地

告頭即充

者所屬部隊

氏名

[Redacted]

ノ

大連港海軍備隊

[Redacted]

ノ

官署、故、上、等、兵、曹

入籍番号

[Redacted]

終

氏名

[Redacted]

6-11 66-10

死亡確認證明書

昭和26年2月11日
中部復員連絡局廣島支部
（調製吉君）

[illegible]

6908

香川縣

死沒者語

本籍地

大連港警備隊

役種

補光藥

吳

卷之四

卷之四

上等藏書

人子與我同生

卷之四

五月十五日 順着

勤務，極要

[illegible]

愛日齋

光緒二十一年八月五日

愛德華一世

田
菴
快
亦
爾

延壽堂藏

死亡番号 六七〇八

死時、状況

死時、状況

記事

昭和二年九月、在任中、ある日、
南支那、廣州、の警備隊、日本軍、
支那軍、の衝突、に遭遇、し、
重傷を負ひ、死亡、した。

在任中

昭和二年九月二日

由、中、南、支、

中、南、支、

中、南、支、

中、南、支、

大連港、海軍、警備隊

[Redacted]

官等、級、二、等、中、

入籍、番号、

終

力

申告者 元山特根 上水

戦歿年月日	戦場	所歿	戦合歿	本	籍	通有	官(職)	氏	名
昭和7年12月	吉林	病死				有	一水		

長崎縣

死亡番号

六二六六